

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	博物館資料論 [Museum Collection Theory]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング		
科目コード	710102	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	長津 宗重			学位授与の方針 との関連	DP1(1)		
授業概要	本授業の目的は、学芸員として博物館活動の原動力となる博物館資料の意義・種類を理解した上で、博物館資料の収集・整理・保管・活用に関する理念や方法及び博物館における調査研究活動・方法・内容について学びます。						
関連する科目	博物館概論を事前に、履修後に博物館資料保存論・博物館展示論を履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回の授業においては当日に配布した資料を利用して授業を展開します。導入部では関連する新聞記事等を利用する場合もあります。授業で学んだ視点に基づいて見学した博物館に関するレポートを作成し、提出後に授業で各自に発表を行ってまいります。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 博物館資料とは何か 2. 博物館資料化の過程 3. 博物館資料の理念と方法 4. 博物館資料の分類・整理、保管 5. 博物館資料の公開の理念と方法 6. 博物館における調査研究の意義・方法・内容 7. 宮崎県総合博物館における博物館資料と調査研究 8. 宮崎県立西都原考古博物館における博物館資料と調査研究 9. 他の博物館における資料と調査研究 10. ほかの博物館・大学との共同調査研究 11. 調査研究の成果公表と還元 12. 博物館資料の取り扱い 13. 博物館資料の活用 14. 全国各地の博物館における博物館資料の活用事例 15. 博物館資料の今後と課題 						
授業の到達目標	博物館活動の原動力となる博物館資料は博物館の収集方針に基づいて学芸員による収集・整理・調査研究によって価値づけられることを理解し、博物館資料に関する基礎的能力を養う。						
授業時間外の学修	授業後には配布資料を読んで授業内容を確認してください。次の授業で重要なポイントについて再度確認します。						
課題に対する フィードバック	レポート、最終試験は評価後、解説します。	評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 1)最終試験－80点 2)レポート－20点				
テキスト	授業毎に配布した資料						
参考書	『新時代の博物館学』(全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 2012 芙蓉書房出版) 本体1,900円 『博物館学 I 博物館資料論』(大堀 哲・水嶋英治編集 2012 学文社) 本体2,300円 『新版博物館学講座5 博物館資料論』(加藤有次他編集 1999 雄山閣出版) 本体3,000円 『新版博物館学講座6 博物館調査研究法』(加藤有次他編集 2001 雄山閣出版) 本体3,000円 『博物館学シリーズ2 博物館資料論』(有元修一他編集 1999 樹村房)						
備考							